

大阪府障がい者自立支援協議会による地域支援の取組みについて

大阪府障がい者自立支援協議会では、平成 29 年度より、地域自立支援協議会を核にした「地域ネットワークの構築」を軸に、地域自立支援協議会が抱える課題の解決に向け、大阪府障がい者相談支援アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）との連携による地域支援の取組みを実施している。

<参考：大阪府障がい者相談支援アドバイザーとは>

H19 に地域自立支援協議会の設置支援を目的として創設。その後、各市町村における自立支援協議会設置や基幹相談支援センター設置を受け、基幹相談支援センターに対する後方支援や計画相談の完全実施に向けた後方支援等を目的に、地域の相談支援体制づくり、相談支援専門員のスキルアップ、協議会活性化のための助言等を行っている。

1 アドバイザー派遣実施状況報告

(1) 派遣状況

令和3年第1回大阪府障がい者自立支援協議会での決議に基づき、令和3年11月より、岸和田市障害者自立支援協議会へのアドバイザー派遣を開始しています。派遣の実施状況については「別紙」のとおり。

(2) 岸和田市障害者自立支援協議会の組織体系

- ア 岸和田市障害者自立支援協議会は、部会（月1回～年3回）、運営会議（月1回）、定例会（年2回）、全体会（年2回）から構成されております。
- イ 部会は、相談支援部会・権利擁護部会・地域移行部会・地域包括ケア部会等があり、各部会では、相談事業所のネットワーク、障がい者虐待・権利擁護、身体・知的障害者の地域移行等を検討されております。
- ウ 運営会議では、個別支援会議での困難事例を検討、個別支援会議で確認した課題の取扱いについて整理、定例会議で協議する案件を整理、全体会議で協議する案件を整理する場となっております。
- エ 定例会では、困難事例の対応のあり方についての情報共有、地域情勢の把握と検討、地域の社会資源の開発及び改善、地域の関係機関によるネットワーク構築、地域移行の推進、運営会議で整理された課題を整理・検討し、必要なものは全体会議に意見を求める場となっております。
- オ 全体会では、委託相談支援事業の実施状況及び運営評価、困難事例の対応のあり方、地域の関係機関によるネットワーク構築等、その他必要な事項についての協議する場となっております。

2 地域自立支援協議会情報交換会

(1) 地域自立支援協議会情報交換会の実施

地域自立支援協議会を対象とした会議において、研修会の実施や好事例の共有・意見交換等を行うことで、課題解決に向けた気づきを促すなど地域自立支援協議会の活性化を目指すために情報交換会を実施している。

地域自立支援協議会の役割は、障害福祉関係機関、関係団体が支援体制に関する地域課題について、情報を共有し、連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとされている。また、第1回情報交換会のアンケートにおいても、地域課題抽出の好事例の紹介や具体的な方法について希望が多かったことから、第2回は、地域課題の抽出をテーマに情報交換会を実施した。

- 日 時：令和4年2月28日（月）13時30分～16時
- 方 法：オンライン形式
- 参 加 者：地域自立支援協議会 事務局構成メンバー等（30市町村、約50名参加）
- 内 容：①地域課題の抽出～摂津市の取り組みについて事例紹介～
②大阪府障がい者相談支援アドバイザーによる地域課題分析シートの説明
③情報交換会（7グループに分かれてグループワーク）
テ - マ：障がいの8050問題
ファシリテーター：大阪府障がい者相談支援アドバイザー

(2) 情報交換会（グループワーク）の主な内容

- ・地域課題を解決していくためには、現場で実際に支援に携わっている相談支援専門員等関係者が、現状分析、地域課題等について共通認識を持つ必要があるため、地域課題分析シートを活用して、どのように地域課題を抽出し、解決策を考える手順をイメージできることを目標とした。
- ・地域課題分析シートにある各項目（地域のストレングス（社会資源）、地域ビジョン、地域の現状、地域課題、解決のためのアクション）を確認しながら、どのように地域課題を抽出し、解決策を考えるか、その手順を確認した。
- ・地域課題を抽出するための数値・データ等の客観的事実に基づいた現状分析及び検証ができてい
るかを確認した。